

浸水対策アンケート結果

- ・市震災復興基本計画意見交換会等の機会に地域住民へのアンケートを実施(実施時期:平成23年11月、アンケート回収総数:1,179枚)
- ・河口部周辺の本格的な復興に向けた堤防整備等を進めていくにあたり、地域住民の意見を把握

※本アンケートは、p.3の「堤防高の設定(案)」を公表する前に実施したもの。

アンケート結果概要

【質問3】以前より浸水しやすくなったという実感はあるか？

➤ 7割以上が浸水しやすくなったと実感

【質問4】優先して実施すべき河川の津波防災対策はどれか？

➤ 6割以上が河川堤防による対策が必要と回答

【質問5】優先して実施すべき浸水対策はどれか？

➤ 5割以上が河川堤防の整備と回答

【質問6】津波等からの安全安心と土地利用・市街地のまちづくりとのバランスをどう考えるか？

➤ 約6割が一定レベルの堤防を造ったうえでソフト対策と組み合わせた対策を行うべきと回答

➤ 一方、27%が広い土地を必要としても今次津波を防ぐような堤防が必要と回答

➤ まちづくりを優先して、堤防は極力低くすべきという回答は6%

【質問7】河川を整備する場合、最も配慮すべき点はどれか？

➤ 「浸水被害の無い安全安心なまちづくり(47%)」「災害時の避難経路(29%)」など、7割以上が安全安心を重視

浸水対策に係るアンケートにご協力下さい。

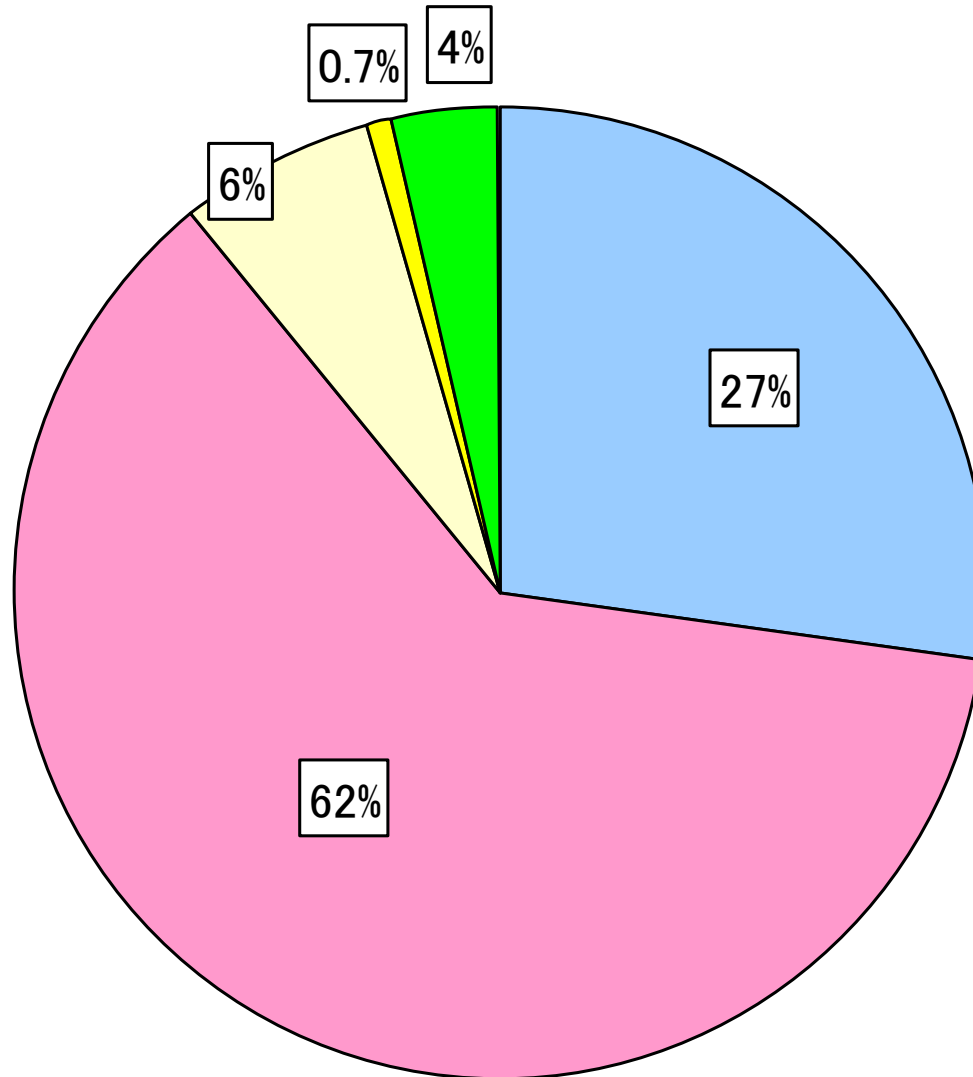
国土交通省では、旧北上川・北上川及び鳴瀬川の河口部において、堤防整備を進めていくこととしています。
今後の整備の参考としますので、差し支えない範囲で以下の質問についてお答え下さい。

※該当する番号ひとつを○で囲んでください。また、()内はご記入下さい。

質問 1	本日はどちらから来ましたか？ (よろしければ町名又は地区名・都道府県名・市町村名まで記載ください。)	※例 ① 石巻市内(蛇田地区、千石町) 1. 石巻市内() 2. 東松島市内() 3. 宮城県内()市・町・村 4. 宮城県外()都・道・府・県
質問 2	お住まいの家屋は3月11日発生の地震・津波によって「被災」しましたか？	(1)地震・津波どちらによる被害でしたか？ 1. 地震により被災した 2. 津波により被災した 3. 両方の被害があった 4. 被災していない (2)被災した方に伺います。どの程度の被害でしたか？ 1. 家屋は全壊・流失した 2. 家屋は半壊した 3. 軒下まで浸水した 4. 床上浸水した 5. 床下浸水した 6. その他()
質問 3	3月11日発生の地震で石巻市内は地盤沈下しており、大雨や高潮などの際は宅地・家屋の浸水に注意が必要です。9月の台風15号においても市内の各所で浸水しました。	(1)日常生活で「以前より浸水しやすくなった」という実感はありますか？ 1. ある 2. あまり感じない 3. ない (2)「ある」とお答えになった方にお聞きします。どんな時に実感しますか？ (自由回答:)
質問 4	3月11日の大津波による甚大な被害を受けました。安全・安心を確保するため優先して実施すべき河川の津波防災対策は次のうちどれだと考えますか。	1. 津波を防ぐ「河川堤防」を築く。 2. 津波遡上を防ぐため河口部に「巨大水門」を建設する。 3. 堤防等の施設整備に頼らず、津波が来たら「避難」すればよい。
質問 5	堤防未整備の河口部等では、洪水や高潮に対する備えも十分ではなく、地盤沈下でゼロメートル地帯も拡大し、浸水被害がより発生しやすくなっています。優先して実施すべき浸水対策は次のうちどれだと考えますか。	1. 洪水・高潮を防ぐ「河川堤防」を整備する。 2. 市街地の排水のための「雨水管渠・ポンプ場」の整備を充実する。 3. 農地を守るために「排水路、排水機場」を整備する。 4. 堤防・排水路等の施設整備に頼らず、浸水したら避難すればよい。
質問 6	堤防を整備する場合、その高さに比例し広い敷地が必要となります。津波等からの「安全・安心」と「土地利用・市街地のまちづくり」とのバランスをどう考えますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。	1. 広い土地を必要としても、3月11日の大津波も防ぐ万全な堤防を造るべき。 2. 洪水・高潮や一定レベルの津波を防ぐ堤防を造り、それを超える大津波への備えは、避難対策(避難ビル等)と組み合わせる。 3. 「安全」も大事だが、「まちづくり」を優先に考え、堤防は極力低くすべき。 4. いざというときには避難すれば良く、堤防等の整備は一切必要ない。 5. その他 具体的に:)
質問 7	河川を整備する場合、最も配慮すべき点は次のうちどれですか。	1. 浸水被害の無い安全・安心なまちづくり 2. 災害時の避難経路 3. 散歩・ジョギングなど市民に親しまれるような工夫 4. 自然環境の保全 5. 市街地の活性化(観光・まちの賑わい)を重視する 6. その他 具体的に:)

浸水対策アンケート結果（抜粋）

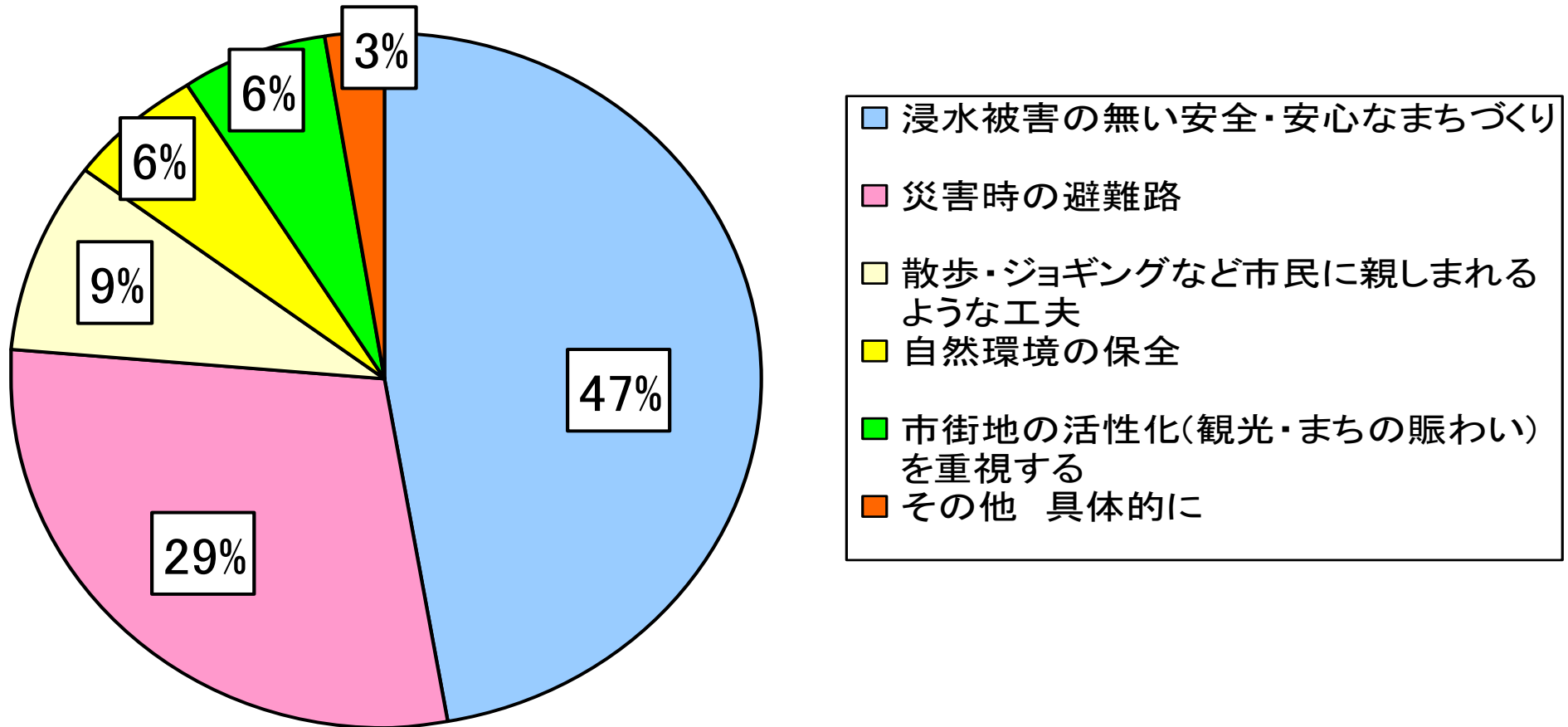
質問6 堤防を整備する場合、その高さに比例し広い敷地が必要となります。
津波等からの「安全・安心」と「土地利用・市街地のまちづくり」とのバランスをどう考えますか？
（複数回答）



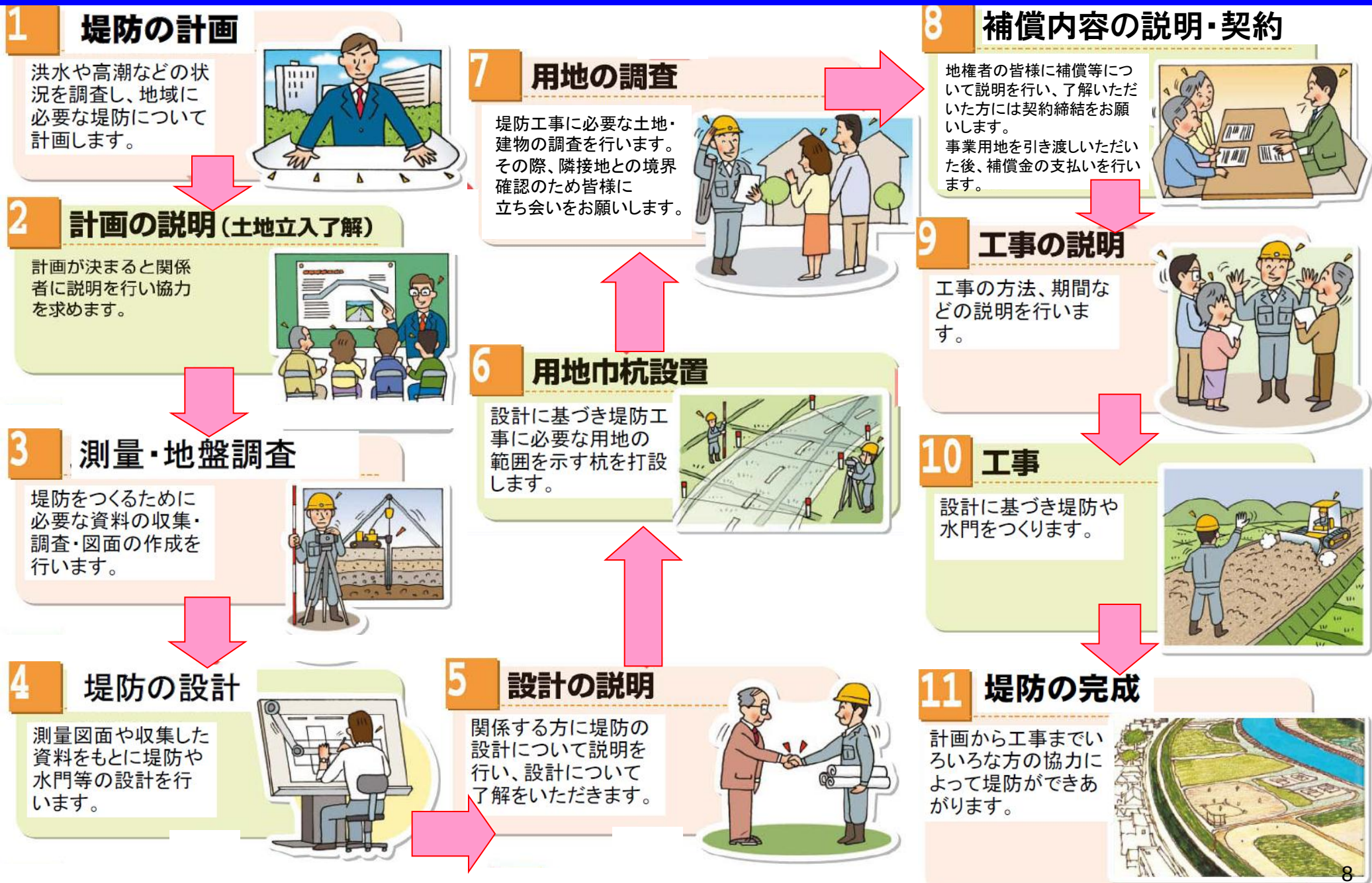
- 広い土地を必要としても、3月11日の大津波も防ぐ万全な堤防を造るべき
- 洪水・高潮や一定レベルの津波を防ぐ堤防を造り、それを超える大津波への備えは、避難対策（避難ビル等）と組み合わせる
- 「安全」も大事だが、「まちづくり」を優先に考え、堤防は極力低くすべき
- いざというときには避難すれば良く、堤防等の整備は一切必要ない
- その他、具体的に

浸水対策アンケート結果（抜粋）

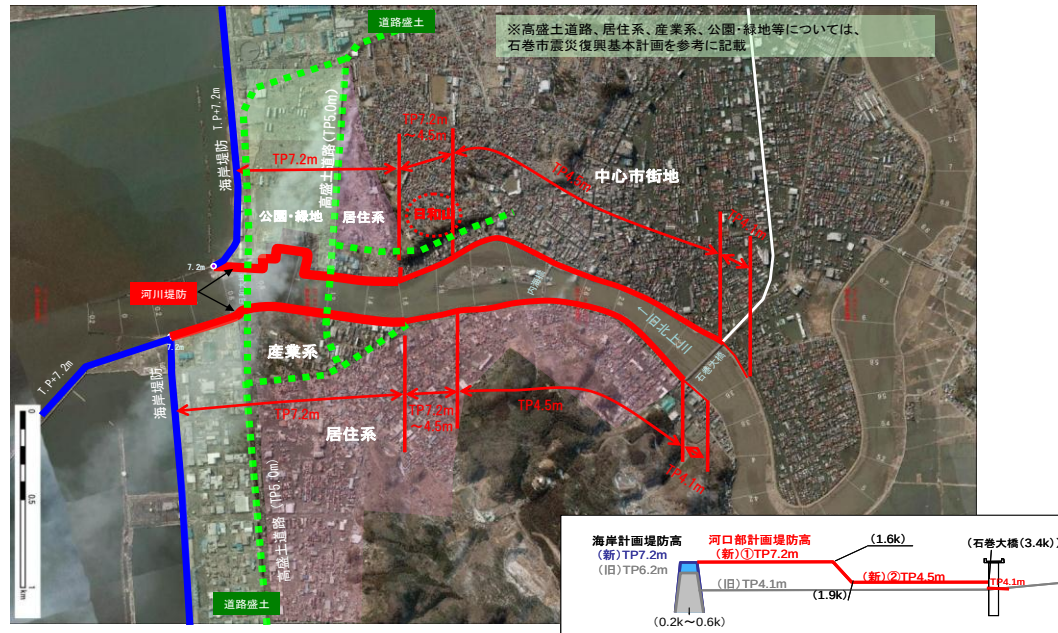
質問7 河川を整備する場合、最も配慮すべき点はどれですか？



堤防ができるまで



堤防断面のイメージ（案）



堤防断面イメージ

※詳細な構造については検討中

